

福井大学動物実験計画書

福井大学長 殿

提出年月日 平成 年 月 日 受付年月日 平成 年 月 日

新規 継続 (回数 変更あり 変更なし)

内容を端的に表すように記入してください

研究課題							
研究目的							
動物実験責任者名 (選択項目を■)			動物実験実施者名 (括弧内はコガナ、選択項目を■)				
フリガナ _____ 氏名 _____ e-mail _____			(_____) @ _____ _____				
研究・実習等を統括する教員です。 研究課題に関わる全員の氏名を記入してください(ケージ交換など飼育のみに従事する者も含まれます)。実験責任者が一人で実験を行う場合は、この欄は記入不要です。不足する場合は別紙に記入し添付してください。			研究課題に関わる全員の氏名を記入してください(ケージ交換など飼育のみに従事する者も含まれます)。実験責任者が一人で実験を行う場合は、この欄は記入不要です。 教育訓練とは、動物実験委員会が実施するものを指します。動物実験を実施する(実験実施者に記載してある)者は全員受講が必須です。 動物実験が行われる施設で承認された飼養施設名、動物実験室名を記入してください(生物資源部門利用の場合は、生物資源部門と記入)。				
欄が足りなければ別紙に書いて添付してください			欄が足りなければ別紙に書いて添付してください				
実験終了日は、通常は年度末(3月31日)となりますが、年度途中で実験を中止あるいは終了した場合は、速やかに動物実験(終了・中止)報告書(様式5)により届けを行ってください。			連絡先TEL: _____ 連絡先TEL: _____				
実験実施期間				中止・終了等			
承認後 ~ 平成 年 3 月				平成 年 月 日			
飼養保管施設 及び 実験室			動物実験の経験等				
飼養保管施設			生物資源部門		実験室		
使用動物							
動物種		系統		性別	匹数	微生物学的品質	入手先(導入機関名)
マウス		C57BL/6		雄	10	SPF	日本クレア
マウス		B6.129X1-Adra tm 1Pcs/J		雌雄	40	SPF	生物資源部門で繁殖
備考		〇〇大学より導入					
種別標準名が学名、系統名などは正確に、微生物学的品質(統制されていない場合はConventionalとする)							
研究概要 (研究計画と方法について)							
自家繁殖した動物を実験に使用する場合は、実験に使用する匹数を記入し、「生物資源で繁殖」あるいは「自家繁殖」と記入してください。交配のために用いる動物は、購入・導入した場合は入手した匹数を、自家繁殖した場合は使用する匹数を記入し、交配の目的(例：〇〇マウスの作製)を研究計画と方法に記入してください。交配によって作製した動物は、実験に使用する匹数を記入してください。							
研究計画と方法				使用動物の使用数の根拠を記入してください。(記入例：実験群の数×1群の匹数×実験数) 実験方法に記載した匹数と使用動物の匹数欄の数が合うようにしてください。			
動物に加える処置(麻酔、投与、手術など)を苦痛度が判定できるように記述してください。(苦痛度検索：ライフサイエンス支援センター(http://www.med.u-fukui.ac.jp/cars/)から、「生物資源部門」「動物実験委員会」「書類」「実験処置の苦痛度検索」) 苦痛度の高い実験、例えば致死的な毒性試験、感染実験、放射線照射等を行う場合(カテゴリ-D,E)、動物実験の計画段階で人道的エンドポイントを設定し、方法欄に記入してください。				摂餌・摂水困難、苦悶の症状(自傷行動、異常な姿勢、呼吸障害、鳴き声など)、回復の兆しが見られない長期の外見異常(下痢、出血、外陰部の汚れなど)、急激な体重減少(数日間で20%以上、腫瘍のサイズの著しい増大(体重の10%以上)などが人道的エンドポイント適用の目安となります。			
欄が足りなければ別紙に書いて添付してください				欄が足りなければ別紙に書いて添付してください			

※ 太枠内のみ記入してください。 両面印刷で提出してください。

福井大学動物実験計画書

福井大学長 殿

新規 継続 (回数 変更あり 変更なし)

提出年月日 平成 年 月 日 受付年月日 平成 年 月 日 受付番号

研究課題

研究目的

動物実験責任者名 (選択項目を■)	フリガナ	所属部局・領域等名	職名	動物実験の経験等
	氏名 e-mail	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
動物実験実施者名 (括弧内フリガナ、 選択項目を■)	()	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	@	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	()	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	@	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	()	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

欄が足りなければ別紙に書いて添付してください

自家繁殖した動物を実験に使用する場合は、実験に使用する匹数を記入し、「生物資源で繁殖」あるいは「自家繁殖」と記入してください。交配のために用いる動物は、購入・導入した場合は入手した匹数を、自家繁殖した場合は使用する匹数を記入し、交配の目的(例: OOマウスの作製)を研究計画と方法に記入してください。

実験実施期間 承認後 ~ 平成 年 3 月 止・終了等 平成 年 月 日

飼養保管施設及び実験室 飼養保管施設 生物資源部門 実験室 生物資源部門

使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質	入手先(導入機関名)	備考
	マウス	A	雄	10	SPF	OO大学	
マウス	B	雌	10	SPF	OO研究所		
マウス	AB	雌雄	100	SPF	生物資源部門で繁殖		

種名標準名が学名、系統名などは正確に、微生物学的品質(統御されていない場合はConventionalとする)

AマウスとBマウスは、ABマウス作製のために導入したマウスで、交配に用いる匹数を記入してください。ABマウスの匹数は、作製の過程で繁殖に要したマウスの匹数ではなく、実際に実験に用いる匹数を記入してください。

研究概要 (研究計画と方法について、その概要を記入する)

実験方法 (動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記す。記載・排除方法等と整合性をもたせる。)

研究計画と方法

AマウスとBマウスを交配し、ABマウスの作製を行う。
 作製されたABマウス100匹を実験に用いる。実験は、OOO.....を行い、OO群、OO群、.....OO群のX群を設け、1群Y匹を用いるので、1回の実験で、X×Y匹用いる。実験は、Z回行う予定であるので、計100匹を使用する。

欄が足りなければ別紙に書いて添付してください

福井大学動物実験計画書

福井大学長 殿

新規 継続 (回数 変更あり 変更なし)

提出年月日 平成 年 月 日 受付年月日 平成 年 月 日 受付番号

研究課題

研究目的

動物実験責任者名 (選択項目を■)	フリガナ	所属部局・領域等名	職名	動物実験の経験等
	氏名 e-mail @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
動物実験実施者名 (括弧内フリガナ、 選択項目を■)	() @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	() @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	() @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	() @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	() @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

欄が足りなければ別紙に書いて添付してください

自家繁殖した動物を実験に使用する場合は、実験に使用する匹数を記入し、「生物資源で繁殖」あるいは「自家繁殖」と記入してください。交配のために用いる動物は、購入・導入した場合は入手した匹数を、自家繁殖した場合は使用する匹数を記入し、交配の目的(例: OOマウスの作製)を研究計画と方法に記入してください。

実験実施期間 承認後 ~ 平成 年 3 月 止・終了等 平成 年 月 日

飼養保管施設及び実験室 飼養保管施設 生物資源部門 実験室 生物資源部門

使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質	入手先(導入機関名)	備考
	マウス	BALB/c	雄	10	SPF	日本クレア	
マウス	BALB/c	雌	20	SPF	日本チャールスリバー		
マウス	BALB/c	雌雄	240	SPF	生物資源部門で繁殖		

種名標準名が学名、系統名などは正確に、微生物学的品質(統御されていない場合はConventionalとする)

繁殖に要したマウスの匹数ではなく、実際に実験に用いる動物の匹数を記入してください。乳仔や胎仔を使用する場合も、実験に使用した匹数を記入してください。

BALB/c マウスの雄10匹、雌20匹は、妊娠あるいは授乳マウスを得るために使用した匹数です。

研究計画と方法

欄が足りなければ別紙に書いて添付してください

入手した雄マウス10匹と雌マウス20匹を交配し、妊娠マウス10匹および授乳10匹マウスを作製する。妊娠18日目の妊娠マウスから胎仔12匹を得る。妊娠マウスは、OOで安楽死後、開腹し胎児を取り出す。授乳5日目の授乳マウス(10匹)から乳仔12匹を得る。胎仔および乳仔は断頭後、脳を取り出し培養に用いる。1回の培養に12匹の胎仔あるいは乳仔を用い、妊娠マウスで10回、授乳期マウス10回の実験を行う。したがって、乳仔と胎仔を合わせて計240匹用いる。

※ 太枠内のみ記入してください。 両面印刷で提出してください。

特殊実験区分 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/> 1. 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: ■ P1A <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3. 放射性同位元素・放射線使用実験 <input type="checkbox"/> 4. 化学発癌・重金属実験	国立大学法人動物実験施設協議会による「動物実験処置の苦痛分類に関する解説」ライフサイエンス支援センター (http://www.med.u-fukui.ac.jp/cars/) から、「生物資源部門」「動物実験委員会」「書類」「実験処置の苦痛度検索」を参照し、該当する分類を選択してください。複数の処置を行う場合は、最も苦痛度の高い区分を選んでください。
動物実験の種類 (選択項目を■)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 試験・研究 <input type="checkbox"/> 2. 教育・訓練 <input type="checkbox"/> 3. その他	
想定される苦痛のカテゴリー (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんど感じない痛みを伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input checked="" type="checkbox"/> D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。	
動物の苦痛軽減、排除の方法 (該当項目をすべて■) 人道的エンドポイントは「計画と方法」の欄に具体的方法を記載	<input type="checkbox"/> 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 <input type="checkbox"/> 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。 <input type="checkbox"/> 3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 (具体的薬名及びその投与量・経路を記入:) <input checked="" type="checkbox"/> 4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 <input type="checkbox"/> 5. その他 (具体的に記入:)	
安楽死の方法 (該当項目をすべて■)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 麻酔薬等の使用 (具体的薬名及びその投与量・経路を記入: ネブタール 150mg/kg Bw 腹腔内投与) <input type="checkbox"/> 2. 炭酸ガス <input checked="" type="checkbox"/> 3. 中枢破壊 (具体的に記入: 頸椎脱臼 法) <input type="checkbox"/> 4. 安楽死させない (その理由を記入:)	
動物死体の処理方法 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 外部業者に依頼 <input type="checkbox"/> 2. その他 (具体的に記入:)	
その他必要または参考事項	(過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況などを記入する。) 遺伝子組み換え実験安全委員会に届出済み、〇〇実験室は動物実験室として承認済み ○実験動物飼養保管施設設置承認申請書 (様式 6 : 施設管理者) 哺乳類、鳥類、爬虫類を 48 時間を越えて飼養保管する施設を設置する場合は、施設管理者 (学部長、センター長) が設置承認申請を行ってください。行動観察などを行うために飼養保管する場合も該当します。 ○動物実験室設置承認申請書 (様式 7 : 施設管理者) 生きている哺乳類、鳥類、爬虫類を取り扱う実験室 (実習室を含む。) を設置する場合は、施設管理者 (学部長、センター長) が設置承認申請を行ってください。遺伝子組換え動物を使用する場合は、別に遺伝子組換え実験室の承認申請も必要です。	
委員会記入欄	審査終了: 平成 年 月 日	
	修正意見等	
学長承認欄	平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 本実験計画を承認します。 承認番号: 第 _____ 号 <input type="checkbox"/> 本実験計画は非承認とします。	福井大学長

※ 太枠内のみ記入してください。 両面印刷で提出してください。